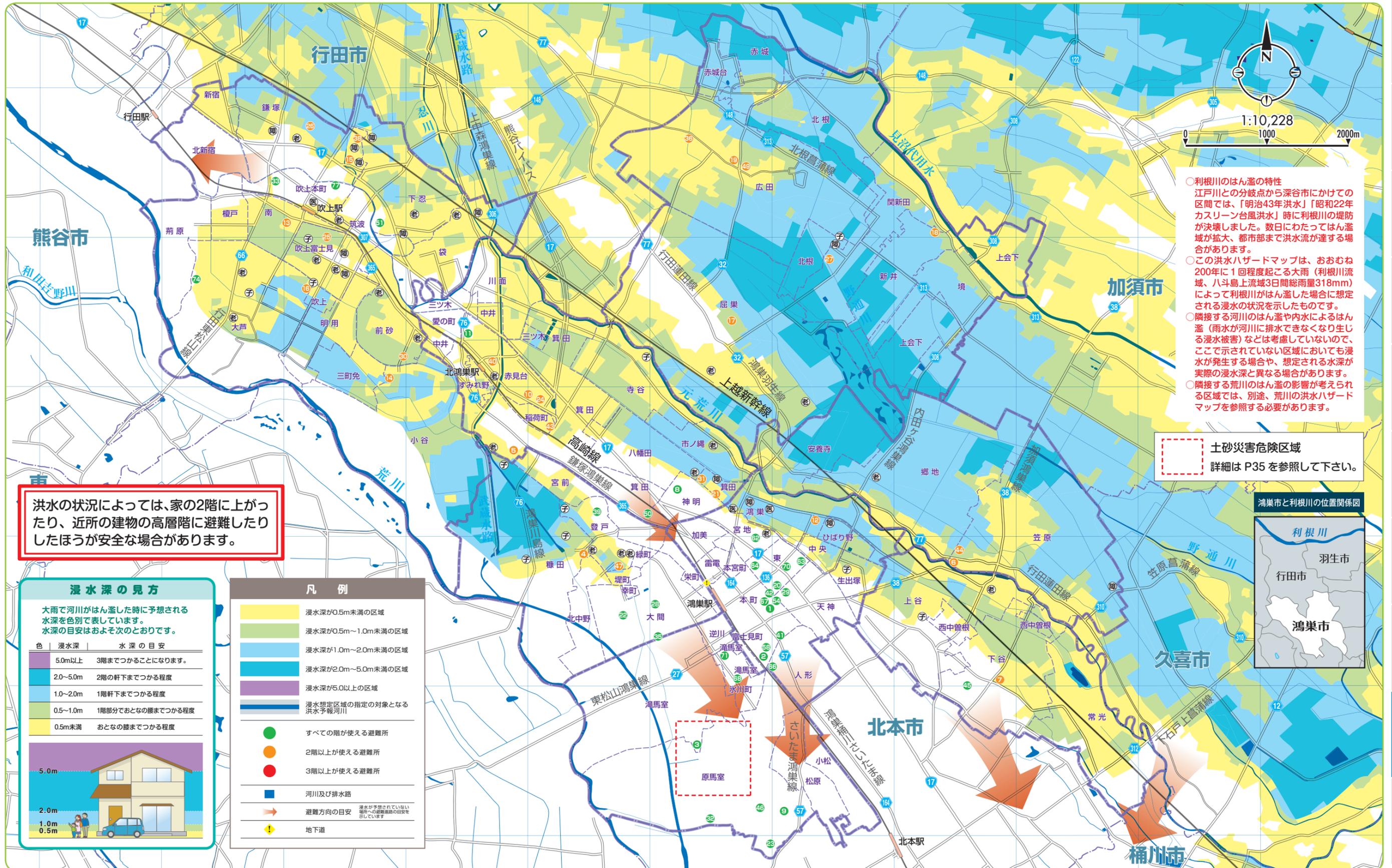


洪水ハザードマップ — 利根川 (小山川・福川・女堀川 流域を含む)



○利根川のはん濇の特性
江戸川との分岐点から深谷市にかけての区間では、「明治43年洪水」「昭和22年カスリーン台風洪水」時に利根川の堤防が決壊しました。数日にわたってはん濇域が拡大、都市部まで洪水が達する場合があります。

○この洪水ハザードマップは、おおむね200年に1回程度起こる大雨（利根川流域、八斗島上流域3日間総雨量318mm）によって利根川がはん濇した場合に想定される浸水の状況を示したものです。

○隣接する河川のはん濇や内水によるはん濇（雨水が河川に排水できなくなり生じる浸水被害）などは考慮していませんので、ここで示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

○隣接する荒川のはん濇の影響が考えられる区域では、別途、荒川の洪水ハザードマップを参照する必要があります。

土砂災害危険区域
詳細は P35 を参照して下さい。

洪水の状況によっては、家の2階に上がった
り、近所の建物の高層階に避難したり
したほうが安全な場合があります。

浸水深の見方

大雨で河川がはん濇した時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおおよそ次のとおりです。

色	浸水深	水深の目安
紫	5.0m以上	3階までつかることになります。
青	2.0~5.0m	2階の軒下までつかの程度
緑	1.0~2.0m	1階軒下までつかの程度
黄	0.5~1.0m	1階部分でおとなの腰までつかの程度
白	0.5m未満	おとなの膝までつかの程度

凡例

黄	浸水深が0.5m未満の区域
緑	浸水深が0.5m~1.0m未満の区域
青	浸水深が1.0m~2.0m未満の区域
紫	浸水深が2.0m~5.0m未満の区域
紫	浸水深が5.0以上の区域
紫	浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
●	すべての階が使える避難所
●	2階以上が使える避難所
●	3階以上が使える避難所
■	河川及び排水路
→	避難方向の目安 <small>浸水が予想されない場所への避難経路の目安を示しています</small>
◆	地下道



- 1 鴻巣地区
- 2 箕田赤見台地区
- 3 田岡宮地区
- 4 馬室地区
- 5 笠原地区
- 6 常光地区
- 7 川里地区
- 8 吹上地区
- 地震ハザードマップ
- 洪水ハザードマップ
- 土砂災害ハザードマップ